

ホーム > バッテリー交換式EVとは？

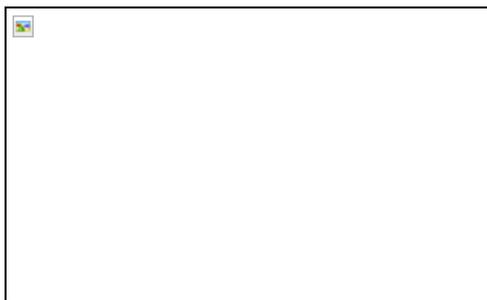


電気自動車はCO2を出さないクリーンな自動車ですが、その普及には、いくつかの問題点があります。中でも問題になっているのが「航続距離の短さ」「充電時間の長さ」「電池が高価である」ということです。現在、電気自動車がバッテリーを充電、再び走り出すまでには、数十分から数時間かかります。

ベタープレイスが提唱する、バッテリー交換式電気自動車とバッテリー交換ステーションでは、あらかじめ充電されていたバッテリーを入れ替えることで、ほんの数分で再び走り出すことができます。

右の動画は、2009年に横浜で行われた、バッテリー交換メカニズムの実証試験の様子です。わずか数分でバッテリーが交換できるのに加えて、期間中約2,000回の交換を問題なく終了し、電気自動車のバッテリー交換がすでに実用可能な技術であることを立証しました。

現在、バッテリー交換のスピードは、日本のメーカーのすぐれた技術によって60秒を切るまでになり、今なおそのスピードと安全性、正確性は進化し続けています。



> バッテリー交換式EVとは

 **ベタープレイス・ジャパンメールマガジン**
ベタープレイス・ジャパンの最新情報やEVタクシープロジェクトの最新動向などをいち早く皆様のもとへお届けします。
[登録する](#)
バックナンバーはこちら

ベタープレイス・ジャパン公式


関連情報

- [ニュースライブラリー](#)
- [ビデオライブラリー](#)
- [メディア露出一覧](#)

なぜタクシーにバッテリー交換式EVなのか？

CO2を削減できる

LPガスを燃料にする自動車から、電気自動車にすることで、CO2を削減、環境に貢献することができます。特に台数は少ないものの、一日中走り回るタクシーの排出するCO2はとて多いので、タクシーをEVにすることで効率よくCO2を削減できます。

[関連リンク：環境への貢献](#)

エネルギーコストを削減できる

電気の価格はとても安く、化石燃料であるLPガスに比べて、エネルギーコストを削減できると考えられています。走行距離の多いタクシーであればタクシー会社にとって、よりエネルギーコストの削減が期待できます。

[関連リンク：経済合理性を証明](#)

LPGステーションの老朽化

多くのLPガスのステーションは現在、耐用年数が近くなり、老朽化を迎えています。現在は、次世代のインフラを構築するのに、とてもよいタイミングなのです。

ベタープレイス・ジャパンは上記のようなメリットから、東京のタクシーには、バッテリー交換式EVが最適であると考え、今回の実証試験でその有用なデータを収集しているのです。

関連情報



[EVタクシープロジェクトが目指すものとは？](#)
なぜバッテリー交換式なのか？新しい時代の息吹を感じてください。



[EVタクシーメイキングレポート](#)
世界初のバッテリー交換式EVタクシーが開発される過程をレポートにしてお届け。